



防災だより

～ 地域福祉等推進特別支援事業 ～

社会福祉法人
八重瀬町社会福祉協議会

八重瀬町字東風平1318-1

電話：998-4000

FAX：998-8999

社協HP

<http://www.yaeseshakyo.com/index.html>

さいがいのつよやえせちようめざ
災害に強い八重瀬町を目指して!



東風平小6年親子集会

わが身に起こりうる災害に備える!

防災グッズづくり

知恵と工夫で災害を乗り越えます!



親子心肺蘇生教室

ぼくだって!
わたしだって助けられる命がある!

手話サークル勉強会

わが身に起こりうる災害に備える!



防災講話

地域の安全は地域で守る!

県社協主催職員研修会へ参加

災害ボランティア派遣
各社協職員でのワークショップ



平成28年度

東風平小6学年親子防災集会



【目的】

東風平小学校の親子が防災知識を深め、実際に体験することで、防災に強い地域づくりを目的に開催しました。



日時：平成28年9月11日(日) 9:00～12:00
場所：東風平小学校体育館
参加者：東風平小学校6学年の親子など 約205名
主催：東風平小学校PTA
協力：八重瀬町社会福祉協議会
八重瀬町赤十字奉仕団・島尻消防清掃組合

親子で心臓 マッサージ



友達同士で 心臓マッサージ



緊急や災害で人助けを要する場面に備えて心肺蘇生法を取り入れた心臓マッサージ・人工呼吸の講習を行いました。家族で命について考えました。

【感想】

- ・CPRのVTRを見て、ぼくも野球をやっているので胸がいたみました。
- ・日曜日学校に来ないといけないと思ったらつかれたけど、やってみたら良い勉強になった。



防災講話



社協職員による災害ボランティア派遣での様子や、災害に備えてほしい心構えの講話を聴きました。

【感想】

- ・いつおこるかわからない災害について良く知れたのでよかった！
- ・熊本の話は心に響きました。

防災グッズ展示コーナー



非常用・災害用避難
グッズの展示・見学

【感想】

・緊急連絡先の確認
や備蓄品の準備など、
できる事から備えて
おきたいと思いました。
とても勉強になりました。

ハイゼックス

①生徒にハイゼックス（包装食袋）を配布し1袋=1合を
災害用移動炊き出し釜を使って、ご飯を炊きました！
※奉仕団の方からご指導を受けました。

【感想】

・炊き出し体験では、米の量や水の量がむずかしかったです。
・炊き出しの仕方や、災害のことについていろいろ分かった。



炊き出し体験

②炊き上がったご飯を配給します。

※ご飯はハイゼックスのまま受け取りふりかけやヒートレスカレーと
一緒にいただきました！

【感想】

・いつ、何が起こるか分からないから、そのときのために、いろいろ準備
とかしていないといけないなあと思った。
・ごはん作りは、あんなに作るのかたんだったのに、とーってもおい
しかった！



—そのほかのご意見・ご感想（アンケート集計結果より）—

・毎日のようにニュースで流れる災害の映像を見ていて、いつ自分の身にふりかかるか分からないと考える
機会が増える中で、今回の体験はとても良かったと思います。ただ、あまり子供が真剣でなかったのが残念
でしたが、それでも災害・救命について話し合うきっかけになりました。炊き出し（ご飯を炊いている様子）
を見れなかったのが残念です。
・こういう状況に遭遇しないことが一番ですが、実際に出会った場合等、少しでも知識があると行動にうつし
やすい。
・わかってはいてもなかなか防災グッズ・備蓄品をそろえて置いていないので、帰ったらすぐやりたいと思
います。とても勉強になりました。こんな機会を与えて下さってありがとうございます。

=事務局より=

・近年各地で発生している自然災害に目を奪われることはあってもどこかで自分の身には起きない！と思っ
ていませんか？体験したことは、予測できない災害を家族で考え、防災用品等を備えるきっかけとなったと思
います。

平成28年度 手話サークル フラワーハンド 緊急時・災害時の対応方法情報交換会

【目的】近年、各地で大規模な災害が発生しています。災害時において災害弱者と言われる避難困難者においては事前の備えはとても重要だと言えます。ですが、緊急時にどうするべきか地域においての情報が少なく不安要素はつきません。そこで、緊急時の対応について情報共有を行い応急手当講習会の開催を目標に意見交換会を行いました。



意見交換会

参加者の声

●緊急通報の不安がある

緊急時の通報や応急手当の必要性について学びました!



応急手当DVD・消防からの情報提供

●災害時情報が入らない (放送がきこえない)

やってみたい!ちょこっと体験!
実技講習にむけて模擬実技



応急手当の実技見学

●暗闇(夜や停電時等)では コミュニケーションが取れない

●緊急時の病院受診等、通訳に困る

●障がいがあると避難所に入れない

=事務局より=

多くの不安を抱えてはいてもどのように対策をするべきか、情報がないまま過ごしているようです。今回みなさんからいただいた意見や感想をもとに、関係機関などと連携し今以上に情報提供をしていきます。

●家族が倒れたら、 周囲に助けを呼ぶ方法は?



手話サークル フラワーハンドのみなさん

日 時:平成28年10月27日(木) 20:00~22:00
場 所:八重瀬町社会福祉会館2階 集会室
参加者:手話サークル フラワーハンド メンバー
主 催:八重瀬町社会福祉協議会
協 力:手話サークル フラワーハンド・島尻消防清掃組合

平成28年度 県営屋宜原団地避難訓練

【目的】平成23年の東日本大震災や、今年度4月に発生した熊本地震、12月に発生した新潟県糸川市大規模火災など、全国各地で大規模な災害が多発しています。

災害から自分の身や大切な家族、近隣の人たちを守るためには、一人ひとりが自らの身を守る「自助」とともに、地域で助け合う「共助」が欠かせません。

そこで、本避難訓練は、地域住民の防災意識の啓発や、災害時適切に行動できるよう訓練すること、災害時要援護者の見守り支援体制を推進し、災害にも強い地域づくりを目的に実施します。

参加者の声



団地に住む要援護者の見守りや介助を行いながら避難しました。

- 他の部屋のチャイムを鳴らしても出てこない場合、大丈夫なのか安否確認できない。



布や毛布等で搬送技術・消火器の使用方法を学びました。

- 布やシーツ等での担架の作り方にはビックリ！

- 糖尿病やアレルギーに配慮してほしい。



*非常食体験

災害用の炊き出し釜を使って特殊な袋でご飯を炊きます！災害時は水の確保が難しいので、必要最低限のお水で炊くことが必要です！

- 高齢者や障がい者の支援について共助として考える事がたくさんありました。



＝事務局より＝

防災意識は避難行動に繋がります。日頃から情報収集や訓練を心がけて家族の備えに役立てましょう。近隣との関わりは災害時に大きな力になります。

*要支援について

私はココに住んでいます。だからこそ知ってほしいことがある。平常時から心がけてほしいことがある。

- 実際に見たり質問したり学ぶことができたので良かった。他人事ではないと実感した。

日時：平成29年2月26日(日) 9:00～10:30

場所：県営屋宜原団地集会所 広場

参加者：県営屋宜原団地住民

主催：県営屋宜原団地自治会

八重瀬町社会福祉協議会

島尻消防清掃組合

協力：八重瀬町赤十字奉仕団

平成28年度 白川ハイツ自治会「防災講話」

今回の防災講話は、日頃からミニデイにおいて防災講話をおこなっていたことがきっかけで、白川ハイツ自治会長より地域住民を対象にした防災講話の依頼があり実現しました。

本会は「八重瀬町社会福祉協議会の取り組み～災害に強い地域を目指して～」、糸満警察署警備課より「災害時における自助・共助の考え方」についての講話を行いました。



日 時:平成28年11月20日(日)
10:00~12:00

場 所:白川ハイツ集会所
参加者:白川ハイツ自治会住民約30名
主 催:白川ハイツ自治会
協 力:八重瀬町社会福祉協議会
沖縄県糸満警察署 警備課

平成28年度 配食サービスボランティア研修会



【目的】高齢者が安心して住み慣れた地域で在宅生活が送れるように、配食サービス事業を通してボランティアによる見守りと安否確認を実施しています。そこで、ボランティア活動時に起こり得る緊急事態を想定して、救急法の知識を学んでもらい、活動時における不安を解消するとともに、今後の円滑な事業推進を図ることを目的として開催しました。

◎地域をよく知るボランティアさんによる見守り、さらに連絡会や研修会に積極的に取り組む姿勢はみなさん真剣です。利用者さん宅で「こんなことがあった!」「今日も元気にしていた!」「留守でとても心配した!」など連携はとても重要な役割を果たしています。これからも、地域の為に頑張っているボランティアさんの活動に感謝します。

日 時:平成28年12月1日(木)
10:00~12:30

場 所:社会福祉会館2階 集会室
参加者:配食サービスボランティア
主 催:八重瀬町社会福祉協議会
共 催:鳥尻消防清掃組合



平成28年度 親子心肺蘇生法教室



【目的】日本国内で一年間に約7万人の方が突然心臓が止まる「心原性心停止」状態に陥っています。心停止は、主に自宅内で発生していることから、大事な家族が突然の心停止状態になった場合に備え心肺蘇生法やAEDの適切な使用方法を習得し、親子で「命」について考えることを目的に実施しました。

アンケート集計より

- いざという時のためになりました。
- 初めて参加しましたが、思っていたより難しくなく自分でも出来るかと思いました。実際、その場面になるとあわてて上手く出来るか不安はありますが忘れずに対応したいです。
- 私の前で倒れていたなら助けてあげたいです。

日 時:平成28年8月26日(金)
14:00~15:30

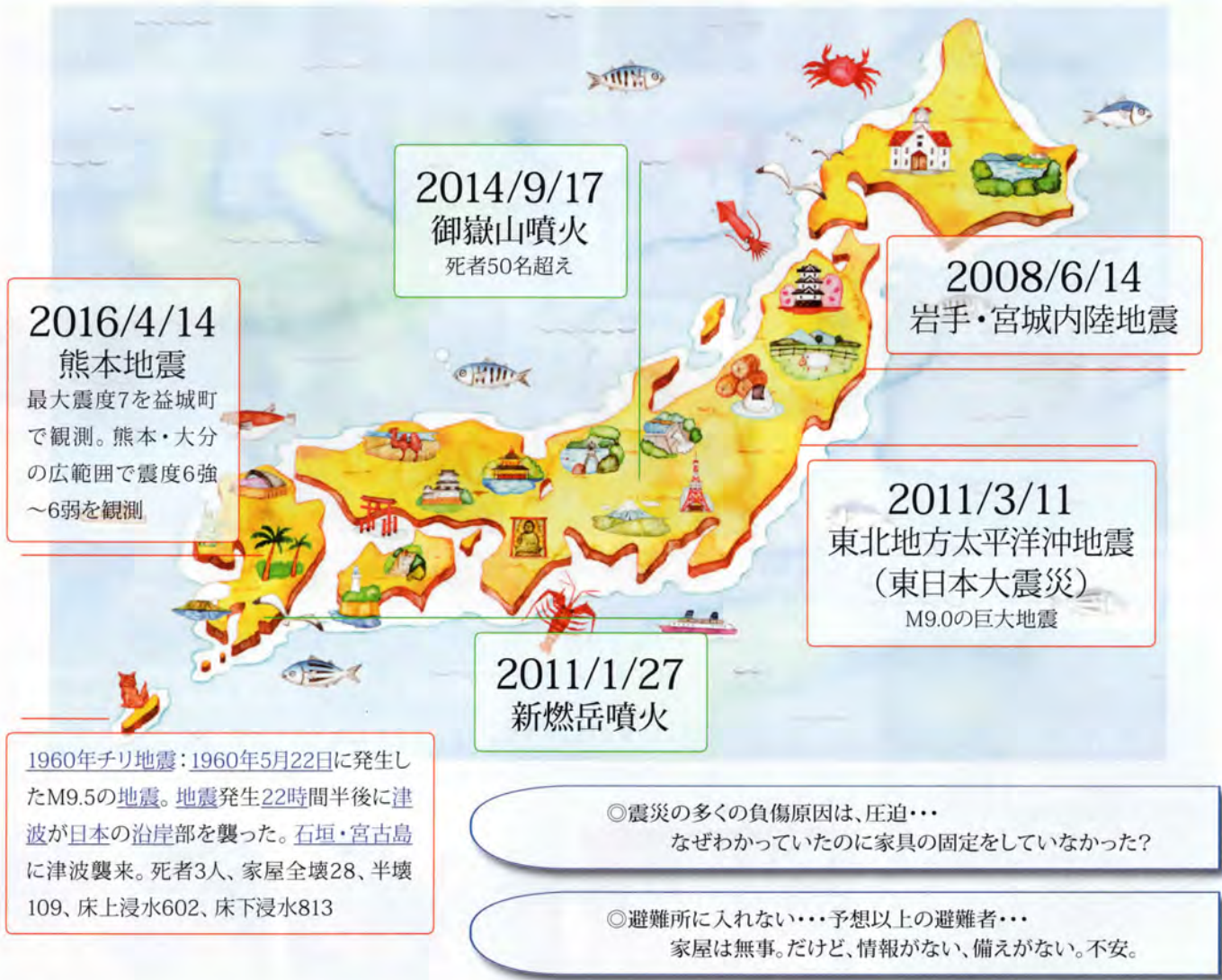
場 所:社会福祉会館2階集会室
参加者:町内在住の親子26名
主 催:八重瀬町社会福祉協議会
共 催:鳥尻消防清掃組合



【事務局】～講演会参加で学んだこと～

平成28年度防災気象講演会に参加。

私たちは「**想定外**」という言葉を使っていいのか?と問われました。なぜなら、東日本や熊本の災害を教訓に学ばなくてはいけないのです。そして、ニーズにあわせた防災訓練や命を守る戦略を考えた避難訓練を行うなど情報を多く集め地域で防災意識を高くもつことが重要だということ。それは多くの命を守ることに繋がるということ…。 **想定外ではいけないということ。**



編集後記

近年各地で発生している自然災害。私たちはそのニュースに目を奪われることはあっても「自分の身には起こるはずがない。」「私は大丈夫。」と思っ
ていませんか?

「こんなはずじゃなかった。」
「想定外だった。」

という事、想定外だったでは大切な人の命を守ることはできません。

沖縄にも近い将来、大きな地震が発生するかもしれない。という認識はあっても防災意識の低さが災害の備えや避難行動に影響します。今一度、各地の災害を教訓に防災について考えてもらえたらと思っています。

八重瀬町社会福祉協議会では、町民のみなさまと安心・安全な地域づくりをめざし活動しています。

防災担当